

世界遺産通信

vol.0

令和5年7月

～世界遺産学習全国サミット inたなべ～

和歌山県世界遺産センター発行



世界遺産学習サミットとは？

「世界遺産学習サミット」は、世界遺産だけでなく地域の宝を広く学ぶ取組を発信し、広げようと、世界遺産学習連絡協議会が奈良市で始めたイベントとなっています。2010年度に初めて開催されてから毎年サミットが行われていて、今回で14回目の取り組みとなります。開催地は来年で20周年を迎える「紀伊山地の霊場と参詣道」がある和歌山県田辺市で行われます。

特長を3点掲げると、①持続可能な社会の担い手を育成②世界遺産学習授業モデルの事例を共有③地域を超えたネットワークを形成するための取り組みを行っています。

世界遺産学習とは？

世界遺産学習は、世界遺産をはじめ、地域の遺産、伝統文化や自然環境などをおして、それらを尊重する態度や地域を誇りに思う心情を養うことを目的としています。そこから、環境教育、国際理解教育、平和教育、人権教育など幅広い学習へと展開することで、SDGSの目標が目指している2030年に向けて、持続可能な社会の担い手となる児童・生徒の育成を図るための学習となっています。

世界遺産学習全国サミット inたなべ

12月8日(金)～12月10日(日)の3日間で行われます。

1日目は、市内の学校での公開授業。2日目は、紀南文化会館でサミット本大会。午前には、各発表者による分科会や各団体によるポスターセッションがあり、午後には、オープニングセレモニー、児童生徒による田辺市語り部ジュニア活動の実践発表や記念講演等が行われます。3日目には、エクスカーションとしまして小中学生によるジュニア語り部つき熊野古道散策を3会場で、また、田辺駅周辺での田辺三偉人ゆかりの地巡りが予定されています。そのほかにも、田辺市立幼稚園・小学校・中学校の学社融合の取り組みの展示等もありますのでご参加よろしく申し上げます。熊野古道に関する各校の取り組みを和歌山県世界遺産センターでも取材をし、どのような様子で、どのような取り組みをされているのかを当日まで追っていきこうと思いますので楽しみにしていただければと思います。詳細な内容や、問い合わせにつきましては田辺市教育委員会学校教育課（0739-26-9942）までお願いします。

